

2025_0521「プラスチックのような蛾（写真）」日々の理科 3940号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

北陸新幹線に「安中榛名（あんなかはるな）」という駅があります。高崎の次、軽井沢の手前の駅です。新幹線専用の駅なのですが、安中市街からも榛名（高崎市）からも離れていて、駅前にはコンビニ軒すらありません。金沢や敦賀まで行く「かがやき号」や「はくたか号」はすべて通過、長野発着の「あさま号」も通過が多いです。日中は2時間以上停車列車がない時間帯もある、誠に不遇な駅です。唯一の利点は、駅前の大駐車場が無料なことでしょう。

私はこの駅を利用します。駅前に車を停めて、6:55 発の東京行一番電車に乗るためです。この新幹線は長野駅始発なのですが、途中軽井沢駅しか停まらず、その1本前のほうが東京に早く着くのでとても空いています。自由席も8両もあり、安中榛名駅乗車時にはほとんど始発列車のようにガラガラなのです。しかし、一つ先の高崎駅でほぼ満員になります。

安中榛名駅は、トンネルに挟まれた山の中の駅なので、新幹線を待つ間は、ホームで野鳥の音が楽しめます。先日その駅のホームで、きれいな蛾を見つけました。鮮やかなオレンジ色で、静止姿勢なので1mmも動きません。誰かが3Dプリンターで作って置いたのかと思うほど、きれいな姿でした。

これは「スジベニコケガ」 *Barsine striata striata* というヒトリガ科の一種です。調べてみると、幼虫は「地衣類」を食べるとわかり、驚きました。幼虫を探して観察したいと思いました。

(2025年5月中旬／北陸新幹線安中榛名駅)

